

事業活動（研修会・講習会等）報告書－1

| | | |
|-----|--------------|---|
| 1 | 活動名称 | 令和7年度「第2回講演会」 ※参加者：20名（会場参加）、19名（オンライン） |
| 2 | 実施日時 | 令和7年10月31日(金) |
| | | 15時00分～16時30分(90分)(会場参加／オンライン) |
| 3 | 担当幹事 | 事務局 |
| 4-1 | 実施内容・名称 | 「臨床建築学入門～建築物のけがと病気～」 |
| 4-2 | 講義の概要 | <p>臨床建築学入門－建築の維持管理を「医療」の視点で捉える－</p> <p>1. <u>講演の背景と目的</u> 建築物を単なる「モノ」としてではなく、時間の経過とともに変化する「生命体」のように捉え、その維持管理や修復を「医療」になぞらえた「臨床建築学」の視点から考察することを目的とする。既存ストックの有効活用が求められる現代において、技術者が持つべき新たな視座を提示する。</p> <p>2. <u>構成および内容</u> 臨床建築学の定義： 建築を「工学」のみならず、事象を観察し診断・処置を行う「臨床」の場として捉える考え方を解説する。設計・施工という「誕生」のプロセスだけでなく、その後の「生活（運用）」や「老化（劣化）」に向き合う姿勢を重視する。 建築における「診断」と「対話」： 建物の不具合や劣化を単なる物理的損傷として処理するのではなく、その背景にある社会的要因や歴史的経緯を含めて「診察」する重要性を説く。 建物との「対話」を通じて、適切な延命策やリノベーションの方向性を見出すプロセスを紹介する。 技術者の役割と倫理性： コンクリート診断士をはじめとする技術者は、いわば「建築の主治医」であり、専門知識に基づいた倫理観と責任感が求められることを強調する。</p> |
| 4-3 | 講師（氏名・所属会社名） | 札幌市立大学 デザイン学部教授 西川 忠 氏 |

事業活動（研修会・講習会等）実施報告書－2

| | | |
|-----|----------------------|--|
| 5-1 | 実施状況写真 | |
| | 「臨床建築学入門～建築物のけがと病気～」 |  |
| | |  |
| | |  |